トランジション・タウン 九十九里町
と
SDGs(Sustainable Development Goals)

持続可能な開発目標とは？

2021年1月31日　トランジション・タウン 九十九里町 学習会
トランジション・タウン 九十九里町ブログサイト
http://tt.tsukumo.mydns.jp

持続可能な開発目標とは？

ミレニアム開発目標（MDGs）に代わるものとして、2015年9月に国連が提唱した持続可能な開発目標であり、2030年までに達成することをゴールとするもの。

この目標は、環境保全や人種差別、貧困といったマクロ的な視点に限らず、例えば飲食店、小売店などにも関係の深いキーワードになっている。

SDGsは、17の大きな目標と、具体的な169のターゲットで構成されている。

SDGsで定められている17の目標と169のターゲット

だから？

「目標」という邦訳が微妙。「目的」とした方が良いと思うのは、
the object of a person's ambition or effort; an aim or desired result.
“going to law school has become the most important goal in his life.”
ということから（aim：目的）

つまり、「開発しようとする目的が継続的なもの」という意味では？

そうではないものの例を挙げるとわかりやすいかも。

例えば、「原子力発電所」。 核燃料廃棄物の問題もそうだけれども、そもそも燃料のウランそのものの埋蔵量は、石油に換算した量よりも少ないということで、「電気を供給する目的で原子力発電所の開発を行う」は、「継続的でない」ということ。

トランジションとの関係は？

「トランジション」とは、「エネルギーを大量に消費する脆弱な社会」から、「適正な量のエネルギーを使いながら、地域の人々が協力し合う柔軟にして強靭（レジリエンス）な社会、持続可能な社会」への移行を意味する。

もとは、パーマカルチャーを提唱していたロブ・ホプキンスが始めたことで、パーマカルチャー（パーマネント＋アグリカルチャー＝永続する農業⇒永続する文化、cf. 循環型農業）は、

「動物や多年生の植物、および自家更新する植物を、人間が利用する目的で組み合わせたシステムであり、それは常に進化する」と定義されている。

トランジション・タウン 九十九里町

「トランジション」の考え方を、「町」を対象に適用したものがトランジション・タウン。

なので、トランジションの考えに基づく活動を、九十九里町の中でやろうというのが「トランジション・タウン 九十九里町」

今の九十九里町で、「継続的であるべきなのに継続的でないもの」の中から優先度の高いものを選び、それを「継続的なもの」に移行（トランジション）させていくことが目的。

はじめて九十九里町でトランジション・タウンの勉強会を開いたのは2018年12月15日のこと。 九十九里町では地域経済が非継続的な最たるものと聞いたことから、「地域の、地域による、地域のための地元経済をつくり直す」という立場で、地道な活動（広報活動）を行いながら現在に至る。

お疲れ様でした。

トランジション・タウン 九十九里町 学習会は、毎月最終日曜日の午後2時から30分間開催しています。

現在は、新型コロナウイルス感染症を予防するために、Zoomミーティングを利用したオンライン会議という形をとっています。

Zoomミーティングに参加するために必要なURLまたはミーティングIDとパスワードは、当該ブログサイトにて事前にお知らせしています。

自由参加ですから、事前のお申込みは必要ありません。 質問などがありましたら、当該ブログサイトの「お問い合わせ」ページよりお問い合わせ下さい。